



資料1

小太刀 銘

濃州関住人兼定ノ享徳三年二月日

刃長58.

3糎

反り1.

5糎

鑄造、庵棟、鑄の卸が急、小太刀ながら片手打ちの打刀姿。

鍛 小板目肌に歪交えて流れ、乱れた映りが鮮明に立つ。

刃文 中直刃、刃淵に小沸づき、鼠足がよく入る。

帽子 表は浅く弛んで先中丸となり、ごく浅く返り、裏は小丸となり、深く返る。